

なんなん通信

令和2年8月4日発行
加茂名南小学校通信 No.28
(バックナンバーは本校のホームページに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。)

「麒麟がくる」と「ワン スクール」について ※諸説あり



校長の奥村兆男（おくむら よしお）です。

いつも「なんなん通信」をご覧ください、ありがとうございます。第28号をお届けします。最後までお読みくださいますと幸いです。保護者の皆様には、夏季休業中の登校日の実施につきまして、ご理解をいただき、適切に対応いただいておりますことに感謝申し上げます。写真は、わたしの1年水泳指導中の様子です。

さて、夏休みの前期登校日に入る前に、体育館で1～3年生と4～6年に分かれて児童朝会をしました。これまで「コロナ」のを中心にして話をしてきましたので、今回は「やらされる勉強から自分のための勉強」について、「興味があることを見つけ、進んで調べてみよう。挑戦してみよう。」と呼びかけ、今、わたし自身関心をもっているNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の魅力について高学年の児童に少し伝えました。

「麒麟がくる」の主人公は明智光秀で、本能寺の変で、織田信長に対する謀反で有名です。天下統一が目前であった信長を本能寺で不意に襲い、その野望を打ち砕いたということで、光秀には謀反人、マイナスのイメージが強いですが、近年の研究で光秀の人物像について見直しがされています。そして、ドラマのタイトルに「麒麟」とあります。「麒麟」は、動物園にいる首の長い動物のキリンではなく、中国の神話で、王が「仁ある政治」を行う時に必ず現れるという聖なる獣が「麒麟」と言われています。イメージとしては、某ビール会社のロゴです。頭は龍で、足は馬に近いですね。わたしは、「麒麟」という言葉を、今回の大河ドラマで初めて知ったわけではなく、わたしが子どもの時の大相撲に「麒麟児」という力士がいましたし、お笑いコンビに「麒麟」もいましたので、以前から気になっている言葉でした。



戦国時代の英雄と言えば、信長、秀吉、家康で、最近では、ゲームソフトの影響で様々な武将に光が当てられています。天下統一という点では、やはり、信長、秀吉、家康の知名度が高いと思います。明智光秀には、やはり「謀反人」のイメージが強く、秀吉に山崎（天王山）の戦いで敗れ、「三日天下」に終わった武将として人気は今ひとつですね。しかし、今年、その光秀が、大河ドラマの主人公で、これまでの光秀像とは少し異なった視点で描かれています。そして、「麒麟」はどの英雄の頭上に現れるのか、大いに興味が湧いてきます。

明智光秀の前半生は史料に乏しく、出自も不明な点が多いですが、「麒麟がくる」では、美濃の斎藤道三に仕えるという設定になっています。道三との最期の場面では、道三は光秀に「大きな国をつくるのじゃ。誰も手出しができぬ、大きな国を」と光秀に思いを託します。しかし、この時、道三の頭上に「麒麟」は現れませんでした。主人公が光秀ということもあり、最後は光秀の頭上に「麒麟」が現れるかもしれませんが、先ほども申しましたとおり、光秀は「三日天下」です。果たして、光秀の頭上に現れるのでしょうか。わたしは、「○○○○の頭上に現れる」と予想しています。番組の最終話を楽しみにしています。

最後に、今回の大河ドラマは、新たな光秀像を描いているだけでなく、こじつけかもしれませんが、学校づくりにも通じていると考えます。ドラマのメインは、戦国の世を終わらせ、天下を統一していくストーリーです。それも「仁ある政治」をもってです。「仁」とは、「他人に対する優しさ、思いやり」を意味します。以前に「JIN-仁-」というテレビドラマがありましたね。わたしは、加茂名南小を「優しさや思いやり」にあふれる学校にしていきたいと考えています。児童朝会のたびに、「ワン スクール」(ラグビーの「ワン チーム」を転用)の話をしています。「全校児童599名はみんな一人一人違っている。でも、違っていてもいい。みんなの心をひとつにし、分数の599分の599で【1(ワン)スクール】を目指しましょう。」と呼びかけています。もしかしたら、「麒麟」は、加茂名南小の時計塔に現れるのではないかな。そんな期待だけでなく、それに向けて、全教職員の心もひとつにし、微力ながら「優しさや思いやり」にあふれる学校づくりを進めてまいります。

次号は、夏休みの登校日の様子についてお伝えしてまいります。